

# 経営比較分析表

青森県 南部町

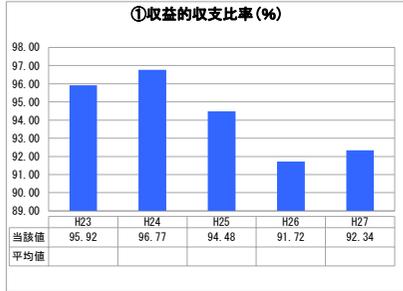
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	33.38	93.89
1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)			
2,430			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,343	153.12	126.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,406	5.17	1,239.07

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



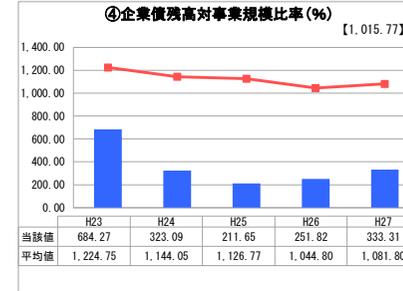
「単年度の収支」



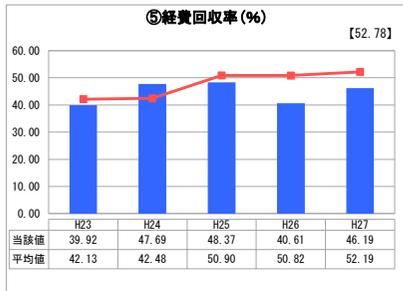
「累積欠損」



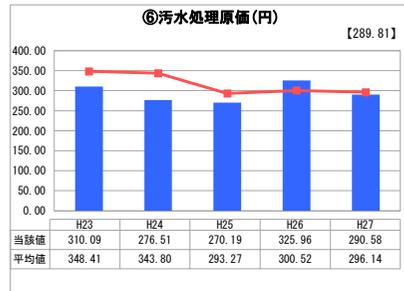
「支払能力」



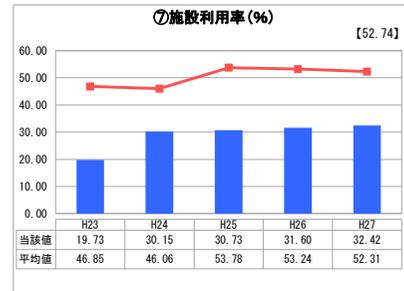
「債務残高」



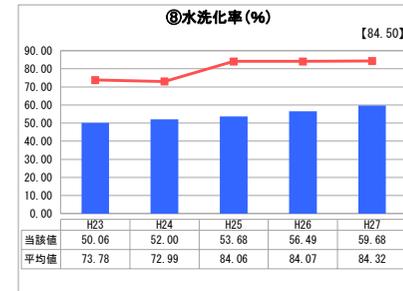
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

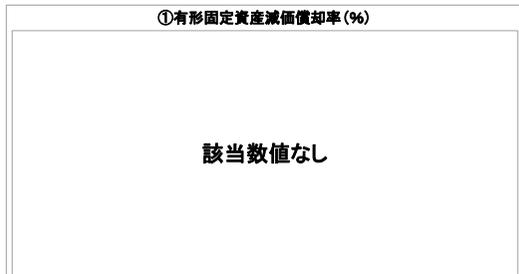


「施設の効率性」

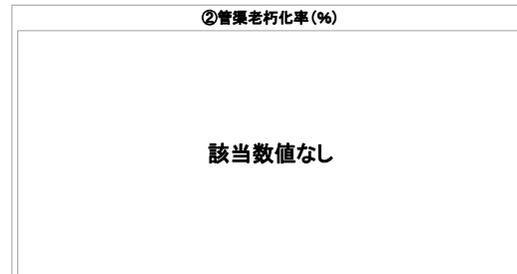


「使用料対象の捕捉」

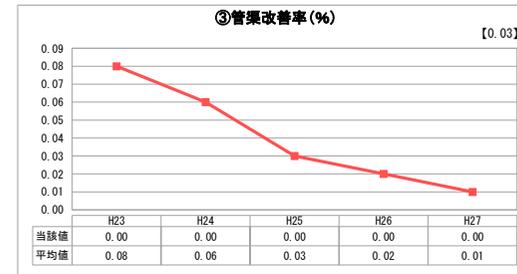
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、下水道使用料の伸び悩みと排水処理施設管理費の増加により比率が低めとなっております。経営を安定させるためには、更なる下水道加入促進等による収入の増加、適正な管理運営が必要と思われます。

経費回収率については、平均値を下回っており、汚水処理費のうち資本費が大きいです。経費回収率を上昇させるためには、加入促進・使用料の見直しを図っていく必要があります。

加入促進により、年間収水量が増加すると、汚水処理原価が低くなり効率性が増すことが予想されます。

また、施設管理における経費削減も必要となることから、ストックマネジメント計画を策定し、適正な維持管理が必要であります。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、耐用年数を超えるのはまだ数十年後であり、また定期点検等による改善箇所が現在まだありません。

今後、耐用年数を超え老朽化していく管渠の改修更新が増加していくため、計画的及び効率的に整備を進める必要があります。

### 全体総括

収益的収支比率、施設利用率、水洗化率が平均値を下回っている要因は、人口減少と加入者の伸び悩みにより、計画策定時に算定した下水道使用料に予定収入が届いておらず、収益的収入が少なくなっていることあります。また、排水処理施設の経年の稼働により、修繕費が増加傾向であります。

よって、下水道加入促進を進めるとともに、下水道使用料の見直しが必要と思われます。また、今後はストックマネジメント計画策定により、より適正な維持管理運営が必要であります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。